

大会規則：熱中症対策に関する規定

本規定では、当連盟主催大会に参加する選手・指導者・審判員・スタッフ・観客等の安全確保を最優先とし、熱中症予防に関する以下の規定を設けます。参加者および関係者は、本規定を遵守し、安全な大会運営にご協力願います。

1. 熱中症リスク指標

- (1) 本大会では、熱中症のリスク評価に「WBGT(湿球黒球温度)値」を用いる。
- (2) WBGT 値は、競技開始前および競技中に定期的に測定し、大会本部にて公表する。
- (3) WBGT 値の測定は、競技会場内の選手が活動する場所で専用の測定器(JIS 規格準拠)を使用し、原則、ホームベース上で地面から 1.1m～1.5m (全軟連)の高さで、数値が安定するまで数分間計測する。

2. 競技実施判断基準

WBGT 値に基づき、以下の基準で競技の実施または制限を判断します。

(1) 25 以上～28 未満(警戒)

激しい運動や持久走は、休憩時間を増やすなど慎重に行う。目安として、30分おきくらいに休憩をとり、積極的に水分・塩分を補給する。

(2) 28 以上～31 未満(嚴重警戒)

運動は、原則中止または大幅に制限する(※)。中断する場合は10分おきに計測する。試合を行う場合は、2回ウラ、4回ウラ終了時に計測すると共に、5分間のクーリングタイムを設ける。

※①WBGT値が高くなる時間帯(12時～15時)を避ける。

②選手の状況を鑑み、試合開始前のシートノックの時間短縮(3分程度)を図る。

③キャッチャーや投手への負担は特に大きいため、暑い時期はポジション固定時間を短くし、複数人で分担することを推奨する。

④試合成立条件(本戦・Jr戦：4回終了、低学年：3回終了)を考慮または継続試合にする。

(3) 31 以上(危険)

競技や運動を中止とする。

3. 熱中症警戒アラートと熱中症特別警戒アラート発表時の対応

松戸市の発表基準は、

(1) 熱中症警戒アラート

県内いずれかの地点おける翌日・当日の日最高暑さ指数(WBGT)が33以上

※発表のタイミング：前日の17時頃、当日の5時頃に事務局から各チーム窓口へ連絡する。

(2) 熱中症特別警戒アラート

県内の全ての地点おける翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35以上

※発表のタイミング：前日の 10 時頃の予測、前日の 14 時頃の発表に事務局から各チーム窓口へ連絡する。

以上より、熱中症警戒アラートまたは熱中症特別警戒アラートが発表された場合は、次のいずれかの措置を検討します。

- ① 開催時間帯の変更
- ② 競技時間の短縮、中止または延期
- ③ 室内会場の活用や日陰の確保

4. 試合中の水分・塩分補給および休憩・クーリング

- (1) 競技中は、意識的に水分および塩分を補給する。
- (2) 給水タイムを設けますので、積極的に水分補給をする。
- (3) 守備タイムを行う場合は、介護員が水筒を持って行き選手に水分補給をすることを許可する。
- (4) 当日の気温により大会本部が介護員 3 名で行うよう指示した場合、1 名はビブスを着用していなくても OK とする。
- (5) それ以外でも、審判の判断および選手・ベンチからの要望で水分補給を行うことができる。
- (6) 試合中、ベンチ内外を問わず、ネッククーラー（※）の使用を認める。

※ネッククーラーの推奨品は以下の通りとしますが、それぞれ、使い勝手は異なりますので留意願います。

また、接触等で破損しない素材の製品のみを使用可とします。

- ① PCMタイプ（氷点下フリー素材）
 - ② 保冷剤・ジェルタイプ
 - ③ 水冷・タオルタイプ
- (7) 各自でも、水筒やスポーツドリンクを持参し、こまめな補給を心がける。
 - (8) 一定時間ごとに休憩時間またはクーリングブレイクを設ける。

5. 体調管理と自己申告

- (1) 大会前日および当日は、十分な睡眠と栄養をとり、体調を整える。**（試合前の計体温の推奨）**
- (2) 体調が優れない場合は、無理に参加せず、事前に大会本部に連絡する。
- (3) 競技中または休憩中に、以下の症状がみられた場合は、直ちに競技を中断する・させると共に、速やかに自己申告し、近くのスタッフまたは大会本部に申し出る。**周囲の者は、積極的に声かけを行う。**
 - ① めまい・立ちくらみ・吐き気・頭痛
 - ② 異常な発汗または汗が出ない
 - ③ けいれん・意識のぼんやり・受け答えの不自然さ

6. 大会本部の対応

- (1) 大会本部は、WBGT 値および選手の状況を総合的に判断し、競技内容の変更・中断・中止を決定する場合がある。その際は、速やかに参加者に周知する。
- (2) 万一、熱中症患者が発生した場合は、大会本部に設置された休憩スペースにて応急処置を行う。必要に応じて医療機関へ連絡または搬送する場合がある。
- (3) 大会本部は、日陰での休憩スペース、冷却用品（氷・氷嚢、冷たいおしぼり、経口補水液等）、冷却備品（扇風機（ポータブル電源含む）、クーラーボックス、簡易ベッド・ストレッチャー等）を用意します。

- ① 運動公園で大会を行う場合は、本部席・審判控え室または駐車場に車を入れて休憩スペースを確保する。
- ② 千駄堀スポーツ広場で大会を行う場合は、本部席・チーム側または駐車場に車を入れて休憩スペースを確保する。
- ③ その他の場所（紙敷、河川敷、学校等）で大会を行う場合も上記同様の対応を講じる。
※チームは必ずテントおよび熱中症対策の冷却用品を用意して下さい。
- (4) 散水設備が整う会場では、可能な限り内野地域に散水を行い、グラウンド温度を下げる。
- (5) 大会毎の役割分担は、別表の通りとする。

7. その他

- (1) 本規定は、プライベート大会（連盟管轄外）においても準用します。よって、**プライベート大会において、本規定を逸脱し、トラブルが発生した場合は、当連盟は関与できず、各チームの責任において対応願います。**
- (2) 違反行為が発覚した場合は、『当連盟規約／第8章懲戒』に則り、処分されます。
- (3) **練習および練習試合は、連盟として関与できませんので、各チームにおいて対策して下さい。**

8. 付則

- (1) 本規定の制定および運用上必要な細則・改訂・改廃は、会長立案のうえ、執行委員会でこれを定め、拡大委員会にて承認を得る。
- (2) 本規定は、2026年7月5日から施行する。

<制定記録>

- 2026年（令和8年） 7月 5日：施行

(別表)

【役割分担】

役 割	主な担当者（不在時）	主 な 内 容	人数の目安
大会責任者	会長（副会長）	実施可否の最終判断、全体統括	1人（3人）
安全管理責任者	理事長（副理事長）	WBGT 管理・確認、運営指示	1人（1人）
救護責任者	事業部長（事業副部長他）	応急措置、救急要請	1人（数人）
会場責任者	審判部長（審判副部長他）	現場統括、ベンチ連携	1人（数人）
各チーム責任者	監督・コーチ（関係者）	選手管理、体調報告窓口	4人（2人）
保護者サポート	各チーム保護者	飲料・クーリング補助等	2人～3人

Main Point

本規定は、大会を中止にするための規定ではありません。
子供たちが安全に野球を楽しみ、安心して挑戦できる環境を守るための規定です。
松戸市少年軟式野球連盟は、「命を守ること」をすべての大会運営に優先します。